

人事関連情報 各事業セグメント主幹会社の合計値

注：セグメント区分の変更にともない、2018年度（2019年3月期）から各事業セグメント主幹会社が一部変更となりました。

2015年度～2017年度：バンダイ、バンダイナムコエンターテインメント、バンダイビジュアル*

2018年度：バンダイ、バンダイナムコエンターテインメント、バンダイナムコミュージック、バンダイナムコアート、サンライズ

*バンダイビジュアルは、2018年4月にバンダイナムコアートに社名変更しました。

雇用形態別従業員数			(名)			
			2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
正社員	男性		1,445	1,485	1,439	1,967
	女性		598	628	652	830
準社員	男性		35	43	25	928
	女性		114	108	94	964
契約社員	男性		33	34	36	128
	女性		34	30	27	49
臨時雇用者数	男性		38	25	37	1,394
	女性		93	51	78	2,156
合計	男性		1,551	1,587	1,537	4,417
	女性		839	817	851	3,999
	合計		2,390	2,404	2,388	8,416

女性管理職数			(名)			
			2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
女性管理職数(名)			81	93	102	120
全管理者数に占める割合			13.4%	15.4%	16.9%	17.4%

新卒採用数			(名)			
			2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
新卒採用数(名)			82	88	99	130
うち女性採用数(名)			35	39	47	60
女性比率			42.7%	44.0%	47.5%	46.2%

障がい者雇用率			(%)			
			2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
障がい者雇用率			2.00%	2.04%	2.04%	2.10%

注：特例子会社バンダイナムコウィルの適用会社である連結子会社が対象

平均データ			(年)			
			2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
平均勤続年数(年)			12.3	12.3	12.4	10.6
平均年齢(歳)			38.8	37.7	39.3	39.0

育児・介護休業取得者数			(名)			
			2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
育児休業取得者数			70	75	65	111
うち男性			5	5	8	9
介護休職取得者数			0	1	1	1
うち男性			0	0	0	0

年次有給休暇取得率			(%)			
			2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
年次有給休暇取得率			65.4%	68.5%	68.4%	57.2%

労災件数			(件)			
			2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
労災件数(件)			17	10	3	52

ワークライフバランス実現のための制度(一例)		(法定以上のもの)
名称	概要	
育児休業	満2歳に達する日(もしくは誕生日の前日)まで取得可能	
育児援助措置	子が小学校6年生を修了する年の3月31日まで、時短勤務や時間外労働・深夜労働の免除が利用可能	
妻出産休暇	男性社員は、妻の出産時に5日間の特別有給休暇を取得可能	
フレックスタイム制度	所定労働時間を1日ではなく月で定める	
育児フレックスタイム制度	小学校6年生を修了する年の3月31日までの子を養育する社員は、育児の状況に合わせてコアタイムを変更することが可能	
出産・子育て支援金の支給など	第一子、第二子の誕生時に、それぞれ20万円支給 第三子以降の誕生時に、子1人あたり200万円支給 (支給には、連続した1週間以上の育児休業取得が要件)	
ライフサポート制度	さまざまな家庭事情を抱える社員にとって働きやすい環境を整備することを目的として導入。 事由に応じて、30日の休暇取得または時短勤務・フレックス勤務が可能。 事由例) ①子の不登校 ②不妊治療 ③家族(2親等以内)の看護および介護 ④疾病での通院	

注：各社によって導入している制度は異なります。